

総務常任委員会記録

平成 30 年 8 月 21 日(火)午後 1 時 28 分～午後 1 時 51 分(9 階 903 会議室)

○出席委員(8名)

委員長	小松 良行	副委員長	阿部 亨
委員	萩原 太郎	委員	羽田 房男
委員	小野 京子	委員	土田 聡
委員	粕谷 悦功	委員	宍戸 一照

○欠席委員(なし)

○議題

所管事務調査「広報政策に関する調査」

1. 当局説明の振り返り
2. 参考人招致について
3. 今後の調査の進め方について

午後 1 時 28 分 開 会

(小松良行委員長) ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

今回は、前回の当局説明を受けて、今後の調査の進め方についてをご協議させていただきたいと思っております。

まず、前回の当局説明の内容とその後の意見開陳で皆様からいただいた意見をもとに、今後の調査の方向性となる事項について正副手元で取りまとめ、お手元にお配りしております。これをごらんいただきまして、まずポイントとなる項目について、左より当局が説明した項目、それに対する当局の説明と本市の現状と、そして右のほうにそのポイントとなる、これは皆さんのほうからいただいたご意見を簡略にまとめてございます。このようなまとめ方をさせていただいておりますが、お目通しいただきたいと思っておりますけれども、調査項目については大きくこの 7 つに分けました。

広報結果の検証についてでございますけれども、当局側のほうとしては広報情報モニター、それからホームページへの意見を確認する程度であって、検証についてということにつきましては、これはなかなか永遠の課題となっているところがあるよといったところでありまして、私どものほうとしましては、一方的な広報にならないために検証はやっぱり必要なのではないかとといったご意見。

テレビ、マスメディアなどを使った広報についてにつきましては、公平公正な関係のもとに決まった予算の範囲でテレビでは放送時間等を決定し放送していると、視聴率なども把握していないのだと

というような現状であり、私どものほうの意見開陳におきましては、前例にとらわれずに視聴率などを考慮し、効果的な広報をする必要があるだろうといった点。

また、広報戦略会議についてでございますが、東日本大震災を受けて、ばらばらの広報ではなくて、市全体として戦略を持った広報をしなければならないとして始まっているといったことがある。実態としては、市職員の広報力などはまだまだ不足しているという認識を持っているとおっしゃっていましたが、市全体に横串を刺して広報やシティープロモーションを主導していく必要があるのではないかとといったご意見。

若年層に向けての広報については、市政だより7月号にキッズコーナーとして子供向けの特集をしたり、大学生みずからがツイッターの発信などを行ったが、定期的な子供向け広報はないといったところでありましたが、子供のころからの情報提供が必要であるため、子供向けの広報も検討が必要であるといったご意見でした。

シティープロモーションにつきましては、認知度向上、イメージアップをし、観光や定住人口の増など、まち、ひと、仕事の好循環につなげていくことを目指していく。意見としましては、市の魅力をつくったり売り込んでいくという認識に欠けていると、手法を学ぶ必要があるのではないかと、発信の意識が強く、受け手側の調査が不足していると、こういったご意見。

広報全体についてでございますけれども、市政だよりはページ数が限られている、マスメディアを使用した広報は予算が限られているなど、既存の枠組みの中で変わらない手法での広報が行われてきているといったところに対して、前例にとらわれず、効果的な広報を行う必要があるといったご意見。

その他の委員の意見としては、受け手側がわかりやすい広報をする必要がありますが、広報の専門職が少なくなってきたのではないかと、専門的な知識を持った職員等も必要であるといったご意見でございます。

以上が振り返りということで取りまとめをさせていただいた内容でございますが、このほかに何かこんなことがあったのではないのなんていうようなことでさらにご意見などありますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) 特になければ、以上が手元で整理させてもらった内容に対しましてですが、これが一応よろしいということでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) ありがとうございます。今後これらの意見を踏まえて、調査を進めていこうと考えます。よろしく願いをいたします。

次の2番目の参考人招致についてでございます。

これを協議させていただきたいと思いますが、参考人招致については参考人や聴取する事項などは今現在ではこれとこれとこれとというようなことでのことはまだ未定でございますけれども、先ほどご確認いただいたこの振り返り、これをもとに参考人招致の参考人を選定していきたいと、このよう

に思うところです。

参考人招致のどういう方をということよりも、まず日程の確認をさせていただいて、ある程度今後参考人招致にあたっては大学の先生など有識者、こういった中から適任はあるか、また内容がこうした広報ということでもありますので、マスコミ関係者なども対象にもなるのかなど。マスメディアによる自治体の広報の現状などを知る方なども意外と参考人にいいのかななどと思っはいるところではありますけれども、まずは日程についてだけご確認をさせていただき、そこにばしっとはまるようにこれから調整させていただきたいと思いますが、日程案でございますけれども、さまざまな議会の日程を考慮し、まずお手元に皆さん手帳などはお持ちでしょうか。10月の16日から18日というところで調整を図りたいというふうに思っています。ここでご都合の悪い方……暫時休議します。

午後1時36分 休 憩

午後1時40分 再 開

(小松良行委員長) では、ちょっと手帳のほう見ていただきまして、委員長、副委員長の手元のほうで参考人招致の日程について、第1案としては10月の16から18日の間に、先様の都合もありますので、それら調整の上実施したいと考えておりますが、皆様のご都合はいかがでしょうか。

【「大丈夫です」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) それでは、参考人の招致につきましては10月の16日から18日の間で調整を図るということで、皆様ちょっとその辺ご予定をあけておいていただくということをお願いしたいと思ます。

また、さきの当局説明の振り返りにもありましたとおり、皆さんのほうから意見開陳がなされた調査のポイントという点で現状でも7点出てきておりますけれども、これから専門的な見地を持つ方をお招きすることについて具体的な人選、これについては皆さんのほうからご意見などありますればお出しいただきたいのですが、特にこういう人呼んでくれとかという具体的なものがないのであれば、今後早急に正副手元のほうで適任者を人選させていただきたいとは思っておりますけれども、何かご意見はありますか。

(宍戸一照委員) こういうのは大学の先生とか、余りそういう方は避けていただいて。

(萩原太郎委員) 私もそうです。

(小松良行委員長) 先ほどお話の中でちらっと申し上げましたが、大体参考人招致になるのは大学の先生等なのですが、今回はシティープロモーション等々もありまして、マスメディアによる広告媒体、自治体の広報戦略と、こういうところで現状に通じている関係者というのも一つありなのだろうななんていうふうには思っはおりましたが。

(宍戸一照委員) マスメディア関係者、通じている方というとなかなか難しいところではあるのですが、ただそういう方のほうが通じてはいるのね。呼ぶとしても通じてはいるのだけれども、な

なかなか難しいと。前に経済民生常任委員会で観光という側面で近畿日本ツーリストの福島営業所、ただその方々は旅行業協会の福島支部長という立場でお呼びしたのです、難しいということ。そういう経験での福島の震災直後の観光というのでお呼びしたことはあるのだけれども、なかなか立場上難しい部分。あと、福島の中小企業の団体ということでお呼びするときも、やっぱり難しいので、製麺業界とか、そういうふうな部分の団体の推薦をいただいてということでお呼びした経過はあるのです。

(小松良行委員長) 確かに何々社とか、そういう偏りとか、そういった懸念もあるのではないかと、そういうふうにとめましたが、そこも含めてちょっとこれから早急に適任者を人選してまいりたいと思いますけれども、特に皆さんのほうからなければ、正副に一任いただければありがたいですが、よろしゅうございますか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) お願いいたします。では、参考人についてはそのように進めさせていただきたいと思えます。

3番目の行政視察についてを協議させていただきたいと思えます。

行政視察についても今後視察先並びに視察内容を決定していくこととまずはなってきますけれども、本日は視察の日程についてだけ協議をさせていただきたいと思えます。

以前に委員会でも視察候補日については既にお伝えはしてあるところではありましたが、議会報告会等の他の議会日程等が固まってきましたので、改めて候補日を決定してまいりたいというふうに思っています。

さきにお示ししていた中で10月30日から11月の2日というふうな日程をお示ししていたかと思うのですが、ここについてはご都合のほうは皆さんよろしゅうございますでしょうか。30から2日または7、8、9という2つを多分、7、8、9を先にしていたかもしれません。

(萩原太郎委員) 10月30、31、もしかすると川俣衛生の定例会があるのです。正式ではないのですけれども、できれば7、8、9にさせていただければありがたいと思えます。

(小松良行委員長) そのほか皆さんよろしいですか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) では、大方の方々が30から2日より11月7日から9日の金曜日のほうでよいということですので、それでは11月7日水曜日から11月9日金曜日という日程にさせていただきたいと思えます。ご異議ありませんね。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) では、こちらのほうでお願いをいたします。

以上の候補日で視察先候補地を調整して、スケジュール決定していきたいと思っておりますので、まずはその調査先の選定についてなのですけれども、さまざまシティープロモーションに力を入れて

いるところ、または市民向けの広報の取り組みに顕著なところや、あるいは専門性、専門職といったところで、そうした広報監を持って戦略的に取り組みを行っているところ、全国にはさまざまあるようでございますけれども、特に皆さんのほうからここはというようなところがあればご発言いただければと思いますけれども、日程と、それから先様の都合等々があり、先ほどの振り返りも含めて調査先のほうも正副一任のほうで探してくれよということであれば、そのように進めさせていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) では、大変勝手ながらでありますけれども、このまとめの内容を踏まえて視察先を決定していくと正副一任をいただきまして、ありがとうございます。そのように進めさせていただきます。

そうすると、本日の議題、その他になりますけれども、次の委員会についてのことですが、9月定例会議がございます。委員会審査の終了後の時間を頂戴いたしまして、現地視察や行政視察についての協議をさせていただきたいと考えておりますので、近くなりましたらご案内させていただきますので、どうかよろしく願いをいたします。

議題としては本日以上でございますけれども、皆さんのほうから何かございますか。

(粕谷悦功委員) この前市から9月20日にプロモーション事業の発表というか、紹介をするということ聞いたよね。これ議会日でしょう、20日は。午前中は休会なのか。いけるの、これ。総務の皆さんに案内出しますからと言っていたでしょう。20日の午前中10時からだというのだよ。

(小松良行委員長) ただいま粕谷さんのほうから日程のことで、20日の。

(羽田房男委員) 現地発表会は9月2日だよ。

(粕谷悦功委員) 案内出すとか言ったのだよ。

(小松良行委員長) それは確認をしてご案内いただく用意があるのかどうなのか確認の上、前回ご案内いたしますというふうなことで回答があったようでしたので、なおそこも確認してご案内いただけるものであれば早目に、どういう形かわかりませんが、皆様にお知らせをさせていただければというふうに思います。

そのほか皆さんのほうから何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(小松良行委員長) なければ、以上で総務常任委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。

午後1時51分 散 会

総務常任委員長 小松 良行